

【再公募】三重県伊賀庁舎太陽光発電設備等導入事業（PPA 事業）公募型プロポーザルに関する質問への回答

	質問	回答
1	<p>【公募型プロポーザル参加要項】 当社において電気主任技術者を配置し、共同事業体である A 社において 1 級建築士を配置することは可能でしょうか。</p>	<p>可能です。</p>
2	<p>【仕様書】 5 事業実施について（2）イ 『伊賀市が公表する「水害ハザードマップ」の浸水区域について考慮すること。』とありますが、太陽光発電を設置する場所において、久米川の浸水エリアには入っておりませんが、ため池ハザードマップには車庫棟 b の南端が 0.5m 浸水エリアとしてわずかに入っています。 この場合、車庫棟 b の南端に設備（盤等）を設置しなければ、0.5m 浸水のための措置は考慮する必要がない、と考えて良いか。</p>	<p>お見込みのとおり、車庫棟 b の南端より北側に設備を設置する場合は、ため池ハザードマップに基づく措置は必要ありません。</p>
3	<p>【仕様書】 5 事業実施について（2）ウ（ウ） 太陽光発電の電力を別途設置される電気自動車充電用分電盤に三相 100A 相当（予定）を接続するとありますが、EV 充電器の仕様については確定情報でしょうか。 EV 充電器の仕様次第で蓄電池の選定コストに大きな影響があります。 例えば、三相ではなく単相 200V 供給でも許容されるかどうか。 単相で良い場合の EV への充電出力は何 kW 必要か。</p>	<p>県が別途設置する電気自動車充電用分電盤の仕様は検討段階のものです。 事業者が設置するパワーコンディショナの外部出力が三相 AC200V となることを予想して三相 AC200V 入力を予定としましたが、単相 AC200V 入力によるご提案も受け入れます。 なお、EV への充電出力は 1 台当たり 3kW（単相 AC200V）×最大 6 台を予定しています。</p>

4	<p>【その他】</p> <p>PPA 電力料金単価を検討するために、現地の屋根形状やキュービクル、盤の場所や状況を確認する必要がありますが、現地調査は可能でしょうか？</p>	<p>現地調査を可能とします。現地調査には職員が同行する必要があるため、日時は以下に限定します。</p> <p>8月23日（水） 8:30～12:00 13:00～17:00</p> <p>8月24日（木） 8:30～12:00 13:00～17:00</p> <p>8月29日（火） 13:00～17:00</p> <p>現地調査を希望される事業者の方は、調査日の2日前までに担当課までご連絡ください。</p> <p>なお、個別の質問にはお答えできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。</p>
---	--	--